

大学の世界展開力強化事業 取組実績 関西学院大学

【構想の名称】(タイプB-Ⅱ)

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム「クロス・カルチュラル・カレッジ」

【プログラムの目的・養成する人材像】

豊かな国際コミュニケーション能力、論理的・実践的な分析力、国際的な場での高度な課題発見・解決能力、行動力およびリーダーシップを備え、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与する「世界市民リーダーズ」を養成する。

【構想の概要】

本学とカナダの3協定大学(マウント・アリソン、クイーンズ、トロント)が連携し、両国の学生が日加を行き来しながらともに学ぶ学士レベルの共同教育プログラム“Cross-Cultural College (CCC)”を設置する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 共同運営委員会、共同教務委員会が発足

日加4大学がCCCに向けて協働することを最終合意し、協定書に調印しました。これにより、学長・副学長級が委員となりCCCの運営全体に責任をもつ「共同運営委員会」と、CCCに関する各大学の教務担当教職員で構成する「共同教務委員会」が発足。その後、これらの委員会が共通事項(第1次共通ガイドライン)について合意しました。

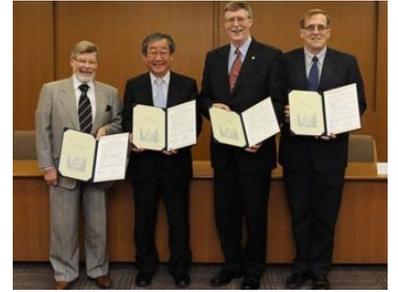
○ 質保証に関するセミナーを開催

日加の認証評価等について互いに紹介する「Quality Assurance Seminar」を他大学にも公開して実施しました。日加の相違点について理解を深め、CCCの質保証に役立てます。

○ 産官民の識者から助言・講評を聴取

産官民の識者6人からなる「アドバイザー・ボード」を形成し、第1回目の委員会を実施しました。CCCのコンセプトや今後の事業計画案について忌憚ない意見や助言等を聴取しました。

(4大学の代表者が協定書に調印)



■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況



(Joint Seminar Pilot Program)

○ Joint Seminar Pilot Programを実施

本事業の教育プログラムの核となる科目の一つ「Joint Seminar」について、クイーンズ大学で1週間・日加学生各8人(計16人)規模で試行、交流プログラムを実施するうえでの課題や成果を検証しました。異文化の相互理解、日加学生の協働という教育面では予想以上に高い成果を得ることができました。

○ 平成24年度学生モビリティ科目を共同教務委員会で確認

平成24年度実施の学生モビリティ科目(詳細は下記「交流プログラムにおける学生のモビリティ」を参照)について、共同教務委員会がシラバス等を確認、当該年度の実施内容を確定しました。また、本学はリスク管理に関するガイドラインも策定しました。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 多様な交流プログラムで日本とカナダの学生が共に学ぶ

日加の学生が交流しつつ学ぶことを重視。産業界と連携した科目の例に、日加の学生がペアで就業体験を行う「Global Internships」(GI)のほか、産業界が提示した課題を日加の学生がチームを作って分析し、解決策を企業へ合同でプレゼンテーションする「Global Career Seminar」(GCS)があります。日加それぞれ約20人の学生が両国で各2週間滞在し、多文化共生をテーマにフィールドワークやグループ発表を行う「Joint Seminar」(JS)も実施。また、JSまたはGIに参加するカナダ側学生を主対象に、日本や東アジアについて学ぶ6週間の「Asian Studies Summer School」(ASSS)も開講します。

○ 日本人学生の派遣

JSで24～25年度は各年20人、26～27年度は各年30人。加えてGIで26年度以降は各年2人、GCSで27年度に20人を派遣する計画です。

○ 外国人留学生の受入れ

JSで24～25年度に各年20人、26～27年度は各年30人、GIで24～25年度に各年10人、26～27年度は各年8人、GCSで24～26年度に各年20人を計画しています。ASSSは各年20人程度を予定しています。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	8	20	20	32	52
学生の受入	0	70	70	78	58

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

(注)H23は実績、H24以降は計画。

○ 日本人学生の派遣 カナダ側大学の協力を得てのStudy Abroad Fairも実施

本学は学業生活や就職活動に関する情報はすべてインターネット上で提供しており、学生は留学中も問題なく情報にアクセスすることができます。また、本教育プログラムにおける派遣学生の募集にあたっては、カナダ側3大学との綿密な情報交換・調整のもと、ホームページに詳細情報を掲載するほか、説明会や相談会を複数回実施し(一回はカナダ側教職員も招聘して「Study Abroad in Canada Fair」として実施)、個別相談にも随時応じています。

○ 外国人留学生の受入

本学国際教育・協力センター留学生総合支援課が一元窓口となり、本構想の推進室や学内他部署、学外諸機関と密接に連携しながら外国人学生の受入から学生生活、キャリア支援に至るまで適切なサポート、サービスを総合的に提供しています。また、本学トロントオフィスに常駐する職員が、適宜カナダ側学生に情報提供し、相談に応じています。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ webサイト、冊子等の制作

23年度中の活動や24年度の計画について取りまとめた冊子媒体(2種類)を発行しました。ウェブサイト(<http://ccc-canada.jp>)では教育内容や活動の成果、今後の計画等を逐次公開するほか、冊子媒体等もダウンロードできるようにしています。